

院生のために みなさんと共に作る大学院GP



# 大学院GPの概要と今後の展開

テーマ:「正課外活動の充実による  
大学院教育の実質化」

期間:2007年10月～2009年度

# 本研究科の人材育成の方向

「ヒューマンコミュニティ創成」に  
主体的に参加・推進する中核的な人材

実践現場に  
飛び込み  
多様な人々と  
連携・協働して  
問題解決に迫る  
研究者・専門家

フットワークの良い  
研究者(城先生曰く)

社会的ニーズ

# ヒューマンコミュニティ創成マインド

- 市民社会で活躍できる資質や能力
- 他大学や他の研究領域の研究者と協力しながら、  
地域・NPO・行政・企業と協働する資質や能力
  - 「チームワークを大切にする構え」
  - 「リーダーシップ」「ボランティアズム」
  - 「コミュニケーション能力」「ネゴシエーション (交渉) 能力」
  - 「プランニング (企画立案) 能力」
  - 「マネジメント (調整整理) 能力」

# 困難な課題

高い学術的資質形成

+

ヒューマンコミュニティ  
創成マインド醸成

正課だけでは  
達成は困難

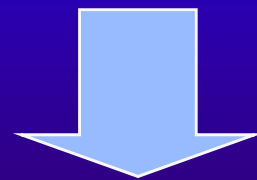


正課外活動を  
準正課的に

教育課程観の再検討＝本GPの本質

# 本GPの目標 I

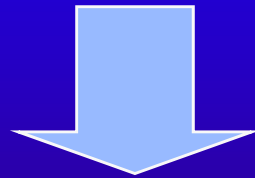
院生の専門的な力量形成を間接的・側面的に支えつつも、現実の実践場面や学際的研究フィールドにおいて期待される「構え」や「力量」を醸成してゆく。



ヒューマンコミュニティ創成マインド  
の醸成支援のためのプログラム開発

## 本GPの目標Ⅱ

「正課外活動」に着目。「ヒューマンコミュニティ創成マインド」を醸成するために、「正課外活動」を積極的に応援する。

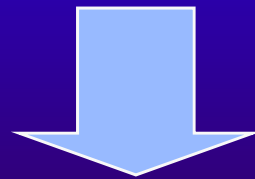


院生の正課外活動を活性化する  
仕組みづくり

## 本GPの目標Ⅲ

一定の質と量の正課外活動が有効なことを、  
院生自身および教職員・外部研究者や実践  
者などの関係者によって積極的に評価する

(新たなインセンティブ)



履修証明の仕組みづくり

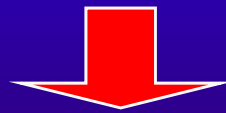
# 本GPの3つの目標

- I ヒューマンコミュニティ創成マインド  
形成支援プログラム  
(HC創成マインドプログラム)の開発
- II 正課外活動の活性化支援
- III 履修証明の仕組みづくり



# 本GP推進上の4つの課題

1. ヒューマンコミュニティ創成マインドを醸成する場としての正課外活動とは？
2. 正課外活動を学びとして意味づける仕組みは？
3. 院生の正課外活動が活発になる仕掛けは？
4. 効果的な履修証明の仕組みは？



本GPの本質＝アクションリサーチ

(仮説の検証・新仮説の構築)

# 正課活動・正課外活動とは？

正課活動の限定的定義

「単位認定の対象となっている授業の  
時間内の活動」

※時間枠の柔軟な指導教員による論文指導や実験的な演習などは、規定の授業時間外の活動であっても正課。

しかし、たとえば、演習に付随してオプション的にフィールドワークを時間外で行なった場合は正課外！

# 作業仮説としての正課外活動

正課外活動

＝「正課活動」以外の活動すべて

重点支援領域としての正課外3領域の設定

- ・実践活動
- ・学術活動
- ・委員会活動

# 実践活動

一定の社会的な課題や問題を解決するために  
あるいは一定の理論に基づいて、大学の内外で  
集団的に行なわれる社会的活動

たとえば、**ボランティアを中心とする地域活動や市民活動**、  
大学で実施されている**社会貢献活動**、教員が主導する**アクションリサーチ (実践的研究)**の一部(ただし、学外の多様な組織や人々と協働・共同している場合)などとそれへの院生の参加、または、**院生たちの自主的な社会的活動**

# 学術活動

学術的課題の追究を目的とした活動

(学会や研究会への参加・参画、研究チームの組織化、  
研究費獲得のためのグラント申請などの学術的活動)

学際的・学術交流的・国際的・協働的なもの

たとえば、**複数教員の共同研究**、**複数の専門領域**による学術活動、**NPO・行政・企業などと連携した地域研究**、**国際学会の運営などのグローバルな学術活動**とそれへの院生の参加

# 委員会活動

大学のマネジメントに関する組織的活動の総称  
(院生が参加しえる研究科内の委員会)

たとえば、学部ガイダンス活動、学舎検討委員会の院生  
スペース刷新活動、FD (Faculty Development: 学部改  
革、授業改善活動) 委員会やキャリアサポート委員会  
への院生たちの参加・協力

## 実践活動

(学外実践的組織との連携・協働)

子育て支援事業・サイエンスカフェ・  
コミュニティアート・環境フェスタ・  
ESDボランティア塾ぼらぼん

参加・運営・企画・統括・指導・監督

## 学術活動

(正課外の研究的活動  
の創造)

国際シンポ・協定校交流・  
学術学会開催・ヒューマン  
コミュニティ創成研究

## 委員会活動

(学内の理解)

広報委員会・学部ガイダンス・  
FD・オープンキャンパス・  
キャリアサポート

## 3領域の正課外活動の 活性化のための方策

### 1. 院生の主体性・自主性支援

- ヒューマンコミュニティ創成活動委員会  
(大学院生＋教職員)  
企画全体のスーパーバイズ機能  
GP理解促進・事業開発...
- ヒューマンコミュニティ創成活動室  
院生の自主的活動の拠点



# 3領域の正課外活動の 活性化のための方策

## 2. 教職員による支援体制の整備

- 運営会議

研究科長・専攻科長を含む挙研究科体制

- 推進プラットフォーム

3領域活動支援グループ

尺度開発ワーキンググループ

履修証明ワーキンググループ

外部評価支援グループ

- 広報プラットフォーム

## 3領域の正課外活動の 活性化のための方策

### 3. ネットワーキングの促進

- 市民活動団体中間支援組織との連携
- 行政等の公共団体との連携
- 現代GP事業「アクションリサーチ型ESDの開発と展開」との連携
- 附属等の学校との連携
- ESD-RCEとの協働

## 3領域の正課外活動の 活性化のための方策

### 4. 活動を動機付け、意味化するプログラム

- **イニシャルプログラム**

授業前期の一定期間の導入プログラム

3領域についての紹介や

モチベーションを上げるワークショップ

などを実施

- **リフレクティブプログラム**

授業後期の一定期間の省察的プログラム

## 3領域の正課外活動の 活性化のための方策

### 5. 集中的な支援期間の設定

- **ESD3weeks** (2008年3月1日～21日)

ESDワークショップ

神戸大学ESDシンポジウム

ESDフォーラム

- **学術weeks** (2008年11月)

など

## 3領域の正課外活動の 活性化のための方策

### 6. 活動紹介などの広報活動の活性化

- 広報プラットフォームの充実
  - 大型モニタースクリーンの館内設置
  - 活動紹介用の電子スケジュール表の掲示
  - ウェブサイトの充実
  - 情報システム委員会・電子情報専門委員会との連携
- HC創成活動委員会院生による広報活動
  - コース内の他の院生への情報発信

# 大学院GPプロジェクト

## 正課外活動の充実による大学院教育の実質化

Home 概要 イベント情報 院生のみなさまへ (スタッフ募集など) 関連団体のみなさまへ メンバーへ リンク

このサイトは、[神戸大学大学院人間発達環境学研究所](#) (旧: 総合人間科学研究科) が取り組む、大学院GPプロジェクト「正課外活動の充実による大学院教育の実質化」の広報を行うサイトです。

ヒューマンコミュニティ創成研究に資する若手研究者・実践者養成を目的としたこの取り組みについては、[概要](#)でご紹介します。また、重要なキーワードを定義づけている[キーワード解説](#)は、漸次アップデートを行います。

## 更新情報・お知らせ

[ [掲載順](#) - [開催日](#)・[期限の近い順](#)に並び替え ]

- [2007年12月12日] [当サイトのフィード \(RSS/Atom/iCal\) について](#) を掲載
- [2007年12月11日] [本プロジェクトに関するキーワードの解説](#) を掲載
- [2007年12月11日] [栗原彬講演会「差異・差別・共生」](#)、2008年1月16日開催
- [2007年12月6日] **期間中!** [神戸大学大学院人間発達環境学研究所・ロンドン大学教育学院 \(IOE\) 第1回学術交流研究会『市民社会への大学の貢献』](#)、12月11～14日開催
- [2007年11月29日] [本プロジェクトのメンバー一覧](#) を公開
- [2007年11月27日] [運用中のML \(メーリングリスト\) について](#) を公開
- [2007年11月26日] [講演『「大学のセンセイ」の現在とFD』](#)、12月21日開催



## 旬のご案内

### 関連イベントの開催予定

- [【2007年12月11日\(火\)～14日\(金\)】](#)  
[神戸大学大学院人間発達環境学研究所・ロンドン大学教育学院 \(IOE\) 第1回学術交流研究会『市民社会への大学の貢献』](#) (学術活動支援グループ)
- [【2007年12月21日\(金\)】](#) 講演『「大学のセンセイ」の現在とFD』 (委員会活動支援グループ)
- [【2008年1月16日\(水\)】](#) 栗原彬講演会「差異・差別・共生」 (実践活動支援グループ)
- [【2007年11月～2008年1月】](#) 手話・指文字から広がる世界 (委員会活動支援グループ)
- [【毎週月・火曜日】](#) トレーニングプログラム (実践活動支援グループ)



イベント情報が便利で

# 大学院GPプロジェクト

## 正課外活動の充実による大学院教育の実質化

[サイトマップ](#) | [お問合せ](#)[Feed \(RSS ...\)](#)[Home](#)[概要](#)[イベント情報](#)[院生のみなさまへ \(スタッフ募集など\)](#)[関連団体のみなさまへ](#)[メンバーへ](#)[リンク](#)[目的](#)[戦略](#)[体制・取り組み](#)[プロジェクトメンバー](#)[キーワード解説](#)[Home](#) » [概要](#) » [戦略](#)

## 本プロジェクトの戦略

本プロジェクトを進める上で、「学術的資質を高く保つ」ことの重要性は言うまでもありません。

「学術的資質を高く保つ」ことは、本研究科の正課課程、すなわち、各専攻・履修コースで実施するコースワークによる専門知識獲得・技能開発の支援、および、特別研究を通じた研究能力・論文執筆能力開発の支援からなる「専門力量形成プロセス支援プログラム」において達成されるべき目標です。

本プロジェクトは、そうした研究科の目標と連動して、正課外の活動に組み込まれた教育機能を活性化させようとするものです。言い換えれば、正課教育とインフォーマルエデュケーションを連結させて、「ヒューマンコミュニティ創成マインドを醸成する」ことを目標としています。専攻や履修コースの壁を越えた、「ヒューマンコミュニティ創成マインド形成プロセス支援プログラム」を開発します。

## ヒューマンコミュニティ創成マインド形成プロセス支援プログラム

ヒューマンコミュニティ創成マインド形成プロセス支援プログラムは、三つの正課外活動のフェーズ、「学内外の実践活動」「学術活動」「委員会活動」に、大学院生が、継続的・主体的にかかわることで、ヒューマンコミュニティ創成マインドの醸成を支援するプログラムです。大学院生が、学年も専攻も異なる多様な「仲間」とともに、地域社会のステイクホルダーと協働して、

# 大学院GPプロジェクト

## 正課外活動の充実による大学院教育の実質化

[Home](#)

[概要](#)

[イベント情報](#)

[院生のみなさまへ \(スタッフ募集など\)](#)

[関連団体のみなさまへ](#)

[メンバーへ](#)

[リンク](#)

▪ [目的](#)

▪ [戦略](#)

▪ [体制・取り組み](#)

▪ [プロジェクトメンバー](#)

▪ [キーワード解説](#)

- ↳ [「大学院GP」とは？](#)
- ↳ [「ヒューマンコミュニティ創成」とは？](#)
- ↳ [「ヒューマンコミュニティ創成マインド」とは？](#)
- ↳ [「履修証明」とは？](#)
- ↳ [「ヒューマンコミュニティ創成活動委員会」とは？](#)
- ↳ [「正課活動」「正課外活動」とは？](#)

[Home](#) » [概要](#) » [キーワード解説](#)

## 本プロジェクトに関するキーワードの解説

### Index

- [「大学院GP」とは？](#)
- [「ヒューマンコミュニティ創成」とは？](#)
- [「ヒューマンコミュニティ創成マインド」とは？](#)
- [「履修証明」とは？](#)
- [「ヒューマンコミュニティ創成活動委員会」とは？](#)
- [「正課活動」「正課外活動」とは？](#)

Updated: 2007/12/11 (Tue) 21:45



# 大学院GPプロジェクト「正課外活動の充実による大学院教育の実質化」に関する予定

今日 ◀ ▶ 2007年 12月 ▼ 週 月 予定リスト ▼

月	火	水	木	金	土	日
26	27	28	29	30	1	2
[大学院GP] 手話・指文字から広がる世界 ▶						
19:00 [大学院GP] サイ	19:00 [大学院GP] サイ	09:30 [大学院GP] 尺度				
3	4	5	6	7	8	9
◀ [大学院GP] 手話・指文字から広がる世界 ▶						
19:00 [大学院GP] サイ	19:00 [大学院GP] サイ				[キャリア支援] 教員希望 13:00 [大学院GP] 学校	
10	11	12	13	14	15	16
◀ [大学院GP] 手話・指文字から広がる世界 ▶						
19:00 [大学院GP] サイ	[大学院GP] 神戸大学大学院人間発達環境学研究所・ロンドン大学教育学院 (IOE) 第1回学術交流研 19:00 [大学院GP] サイ				[大学院GP] 尺度開発ワーキンググループ第2回研	
17	18	19	20	21	22	23
◀ [大学院GP] 手話・指文字から広がる世界 ▶						
◀ [大学院GP] 尺度開発 19:00 [大学院GP] サイ	19:00 [大学院GP] サイ			14:00 [大学院GP] 講演		天皇誕生日
24	25	26	27	28	29	30
◀ [大学院GP] 手話・指文字から広がる世界 ▶						
振替休日	クリスマス					
31	1	2	3	4	5	6
◀ [大学院GP] 手話・指文字から広がる世界 ▶						
大晦日	元日					

予定を表示するタイムゾーン: 東京

+ Google カレンダー

Updated: 2007/12/13 (Thu) 12:39

## 3領域の正課外活動の 活性化のための方策

### 7. 正課外活動の場の改善を支援する活動

- ・参加の受入方法や仕組みに関するコンサル
- ・インフォーマルな場のもつ教育力に関する調査
- ・その他の現場のニーズに応える研究調査

## 3領域の正課外活動の 活性化のための方策

### 8. コース企画事業の実施

- 13の各コース単位での院生の積極的な参加が見込まれる正課外活動事業の実施  
(実践・学術・委員会活動のいずれか)
- 各コースのHC創成活動委員(院生と教員)中心。
- 講師または外部指導者への謝金・旅費または院生旅費などの財政的支援

## 3領域の正課外活動の 活性化のための方策

### 9. 履修証明

- 2年間の活動で、**Practitioner Certificate in Human & Community Development**を、さらに3年間の活動で、**Advanced Practitioner Certificate in Human & Community Development**、の発行を計画
- 前者は前期課程修了者を、後者は後期課程修了者を想定

## 履修証明システムの方向性

- ▶イニシャル プログラムなどのいくつかの活動支援セミナーに参加することと、諸活動への主体的参加度を一定の基準で評価する
- ▶正課外活動なので、教員が一方向的に評価したり、いわゆる単位認定のようなスタイルで定式化したりはしない(非単位化)
- ▶院生による自己評価や集団評価の手法も取り入れる
- ▶学外の人のコミットの仕組みをつくる

## 履修証明システムの方向性

- **尺度**開発ワーキンググループによる検証活動  
ヒューマンコミュニティ創成マインドの形成を  
実証的に検証しえる尺度によって、  
適宜**アンケート等**を実施しつつ、質的評価の方法を  
検討する。
- **活動手帳**(仮称)の記入  
院生は活動参加のたびに活動手帳を  
記入し、自分の足跡を辿れる資料を  
作り保管する(レフレクティブプログラムで  
使用予定)

# 本GPの方策のまとめ

1. 院生の主体性・自主性支援
2. 教職員による支援体制の整備
3. ネットワーキングの促進
4. 活動を動機付け、意味化するプログラム
5. 集中的な支援期間の設定
6. 活動紹介などの広報活動の活性化
7. 正課外活動の場の改善を支援する活動
8. コース企画事業の実施
9. 履修証明

# 2007年度の主な事業

- 【2007年10月】「正課外活動の実態調査」(運営会議)
- 【2007年11月17日(木)】明石市高齢者大学校あかねが丘学園交流実践運営参加事業(実践活動支援グループ)
- 【2007年11月28日(水)】尺度開発ワーキンググループ第1回研究会(尺度開発ワーキンググループ)
- 【2007年12月16,17日(日,月)】尺度開発ワーキンググループ第2回研究会(尺度開発ワーキンググループ)
- 【2007年12月21日(金)】講演『「大学のセンセイ」の現在とFD』(委員会活動支援グループ)
- 【2008年1月16日(水)】栗原彬講演会「差異・差別・共生」企画推進事業(実践活動支援グループ)
- 【毎週月・火曜日】サイエンスサポータートレーニングプログラム(実践活動支援グループ)
- 【2007年11月～2008年1月】手話・指文字から広がる世界(委員会活動支援グループ)
- 【2007年12月11日～13日】「神戸大学大学院人間発達環境学研究所・ロンドン大学教育学院(IOE) 第1回学術交流研究会『市民社会への大学の貢献』(学術活動支援グループ)
- 【2008年1月～3月】ガイダンス実施支援事業(委員会活動支援グループ)
- 【2008年1月～3月】キャンパス改善委員会参加促進事業(委員会活動支援グループ)
- 【2008年3月】ESD3WEEKS(実践活動支援・学術活動支援グループ)





# 緊急！2007年度コース企画事業

- 2008年1月17日～2月29日の期間  
実践・学術・委員会の3領域に対応する事業の実施への助成事業  
1件＝10万～15万円の補助  
申込フォーム提出期限：事業実施の約1ヶ月前

※申込フォームはHC創成活動委員（院生）に配布  
...簡単なものです。

1コース、必ず1件は申請してください。  
(お願いします)

# 2008年度の事業展開に向けての お願い

- 実践活動・学術活動・委員会活動に関する企画を募集します！
- 教員でも、院生でも、発案者はだれでもOKです。
- 3領域の来年度の**財源枠を年内に公表！**
- **来年1月15日(火)までに「2008年度活動申請フォーム」**に記入の上、大学院GP事務局まで申し込んでください。
- 必ずしもすべて採用されるとは限りません。運営会議にて精査されます。

# 公募：学術WEEKS事業

## 1) 目的

学術活動を集中的に行うことにより、**多くの大学院生**がこの活動に**参加**でき、それをもとに研究活動等に関わるスキルを身につける

## 2) 内容

(1) **複数教員による研究会**等

(2) **学生主催の研究会** (例. 学生が自主的に研究者を招聘し、研究会を実施)

(3) **国際交流協定機関あるいはその可能性のある機関との研究会**

(4) その他

# 大学院GPへの協力をお願い

出してみた とおったびっくり 院GP  
勝手に出された 腹立った  
立ったついでに 歩いてみるか  
ジョギングみたいに 走ろうか

今後、人間発達環境学研究科**院生のために**  
本GPが役立つよう、全教職員のみなさまの  
ご協力を心よりお願い申し上げます。

(大学院GPスタッフ一同)